



2023年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2023年4月14日

上場会社名 プリントネット株式会社 上場取引所 東
 コード番号 7805 URL https://printnet.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 小田原 洋一
 問合せ先責任者 (役職名) 管理部長 (氏名) 猪俣 裕貴 TEL 050-3734-6495
 四半期報告書提出予定日 2023年4月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年8月期第2四半期の業績 (2022年9月1日～2023年2月28日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年8月期第2四半期	4,644	7.9	324	54.6	323	39.6	201	16.4
2022年8月期第2四半期	4,304	—	209	—	231	—	172	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年8月期第2四半期	41.01	—
2022年8月期第2四半期	34.78	—

(注) 決算期変更に伴い、2021年8月期第2四半期累計期間 (2020年11月1日から2021年4月30日) と2022年8月期第2四半期累計期間 (2021年9月1日から2022年2月28日) は期間が異なるため、2022年8月期第2四半期の対前年同四半期増減率は記載しておりません。

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年8月期第2四半期	7,419	3,466	46.6
2022年8月期	7,455	3,380	45.3

(参考) 自己資本 2023年8月期第2四半期 3,460百万円 2022年8月期 3,376百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年8月期	—	0.00	—	10.00	10.00
2023年8月期	—	0.00	—	—	—
2023年8月期 (予想)	—	—	—	12.00	12.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

3. 2023年8月期の業績予想 (2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,200	6.4	600	8.8	596	4.1	370	△8.4	75.38

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

2023年8月期2Q	5,460,400株	2022年8月期	5,460,400株
2023年8月期2Q	631,448株	2022年8月期	507,548株
2023年8月期2Q	4,908,372株	2022年8月期2Q	4,969,807株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) キャッシュ・フローに関する説明	3
(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症に係る影響が減少傾向にあるものの、ロシア・ウクライナ情勢等の影響を受け、景気の先行きが不透明な状況にあります。

当社の当第2四半期累計期間における売上高は4,644,112千円となり前年同四半期累計期間比（以下、「前年同期比」）339,375千円の増収、営業利益は324,656千円で前年同期比114,662千円の増益、経常利益は323,611千円で前年同期比91,774千円の増益、四半期純利益は201,308千円で前年同期比28,436千円の増益となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

① ネット印刷通信販売事業

当第2四半期累計期間において、印刷売上高は4,540,854千円で前年同期比262,345千円の増収、内、大口得意先への印刷売上高は1,763,636千円で前年同期比44,297千円の増収、大口得意先以外の会員の印刷売上高は2,777,218千円で前年同期比218,048千円の増収になりました。また、新規会員数は7,353社（予想における通期累計新規会員数に対する進捗率63.8%）であり、大口得意先以外の新規及び既存を含めた会員1社当たりの平均売上高は13,837円となっております。なお、1社当たりの新規獲得に係る広告宣伝活動における単価は4,212円となっております。

印刷業界におきましては、コロナ禍における生活様式の変化に伴いWEB会議システム等を利用したオンラインでのコミュニケーションが増加したことや、デジタル化の加速による紙媒体の需要減少、原材料やエネルギー価格の高騰が重なり、厳しい経営環境となっております。しかし、ネット印刷通販業界はコロナ禍以前の5年間において毎年10%程度市場が拡大したと言われており、新型コロナウイルス感染症の影響に関しても、印刷業全体に比べ印刷需要の落ち込みは少なかったと考えております。

このような状況のもと、当社は強みをさらに伸ばすため、将来に向けて、売上拡大や顧客の囲い込み、生産管理体制に対応できることを目的とした次世代基幹システムの構築を行っております。

また、大口得意先との取引条件の見直しや、従業員の多能工化による人員の適正化及び効率化を行い、営業利益の改善につなげました。なお、当第2四半期会計期間末時点で稼働している大型オフセット印刷機は、前事業年度末と変わらず合計9台となっております。

この結果、売上高は4,577,958千円で前年同期比273,222千円の増収、セグメント利益は423,045千円で前年同期比171,554千円の増益となっております。なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報は当第2四半期累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

② その他の事業

その他の事業の売上高は66,153千円で前年同期比66,153千円の増収、セグメント損失は22,760千円（前年同四半期累計期間は2,108千円の損失）です。当該損失の主たる要因は事業譲受に係るアドバイザーフィー等によるものであります。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産合計は、前事業年度末に比べ86,291千円減少し、2,533,381千円となりました。その主な要因は、現金及び預金が166,099千円減少したこと及び原材料及び貯蔵品が72,894千円増加したこと等によるものです。

当第2四半期会計期間末における固定資産合計は、前事業年度末に比べ51,020千円増加し、4,886,607千円となりました。その主な要因は、土地が61,235千円増加したこと等によるものです。

この結果、当第2四半期会計期間末における資産合計は前事業年度末に比べ35,271千円減少し、7,419,989千円となりました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債合計は、前事業年度末に比べ157,518千円増加し、2,595,641千円となりました。その主な要因は、短期借入金が200,000千円増加したこと等によるものです。

当第2四半期会計期間末における固定負債合計は、前事業年度末に比べ278,750千円減少し、1,357,989千円となりました。その主な要因は、長期借入金が268,734千円減少したこと等によるものです。

この結果、当第2四半期会計期間末における負債合計は前事業年度末に比べ121,231千円減少し、3,953,630千円となりました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は、前事業年度末に比べ85,960千円増加し、3,466,358千円となりました。その主な要因は、利益剰余金が151,779千円増加したこと及び自己株式が77,482千円増加したこと等によるものです。

この結果、自己資本比率は46.6%となり、前事業年度末に比べ1.3ポイント増加しました。

(3) キャッシュ・フローに関する説明

当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、前事業年度末に比べ166,099千円減少し、836,550千円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、360,866千円(前年同期は167,551千円の収入)となりました。これは主に、税引前四半期純利益318,593千円、減価償却費264,857千円の計上といった増加要因及び法人税等の納付による支出183,957千円等によるものです。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、278,596千円(前年同期は64,779千円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出108,124千円、無形固定資産の取得による支出148,363千円等によるものです。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、248,368千円(前年同期は95,725千円の収入)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出318,764千円等によるものです。

(4) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年8月期の業績予想につきましては、当第2四半期累計期間における業績と今後の動向を踏まえ、2023年1月13日に公表いたしました通期業績予想を変更いたしました。

なお、業績予想は、現時点で入手可能な情報に基づいて作成したものでありますが、実際の業績は今後発生する様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年8月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年2月28日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,002,649	836,550
受取手形及び売掛金	694,850	738,442
商品及び製品	8,226	23,072
仕掛品	19,704	26,812
原材料及び貯蔵品	537,013	609,907
その他	357,878	299,285
貸倒引当金	△649	△689
流動資産合計	2,619,673	2,533,381
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1,005,796	986,084
機械及び装置(純額)	2,027,818	1,866,372
土地	1,179,268	1,240,504
その他(純額)	171,121	176,539
有形固定資産合計	4,384,005	4,269,501
無形固定資産	168,300	293,502
投資その他の資産		
投資その他の資産	294,803	330,176
貸倒引当金	△11,521	△6,573
投資その他の資産合計	283,281	323,603
固定資産合計	4,835,587	4,886,607
資産合計	7,455,260	7,419,989
負債の部		
流動負債		
買掛金	643,569	653,442
短期借入金	600,000	800,000
1年内返済予定の長期借入金	587,498	537,468
未払法人税等	200,000	137,029
賞与引当金	51,793	59,563
その他	355,261	408,138
流動負債合計	2,438,122	2,595,641
固定負債		
長期借入金	1,264,894	996,160
ポイント引当金	32,074	23,254
退職給付引当金	106,003	110,682
役員退職慰労引当金	5,145	5,445
長期末払金	207,325	200,304
その他	21,296	22,142
固定負債合計	1,636,739	1,357,989
負債合計	4,074,861	3,953,630
純資産の部		
株主資本		
資本金	815,722	815,722
資本剰余金	797,747	797,639
利益剰余金	2,050,535	2,202,315
自己株式	△285,553	△363,035
株主資本合計	3,378,451	3,452,641
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△1,961	7,504
評価・換算差額等合計	△1,961	7,504
新株予約権	3,908	6,212
純資産合計	3,380,398	3,466,358
負債純資産合計	7,455,260	7,419,989

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
売上高	4,304,736	4,644,112
売上原価	3,338,602	3,536,283
売上総利益	966,133	1,107,828
販売費及び一般管理費	756,139	783,172
営業利益	209,993	324,656
営業外収益		
受取利息	24	29
受取配当金	933	933
受取賃貸料	5,055	4,918
受取補償金	21,345	—
その他	544	994
営業外収益合計	27,904	6,875
営業外費用		
支払利息	3,967	5,047
賃貸費用	790	686
支払手数料	244	1,467
その他	1,059	718
営業外費用合計	6,061	7,920
経常利益	231,836	323,611
特別利益		
保険解約返戻金	58,507	—
特別利益合計	58,507	—
特別損失		
固定資産除却損	1,176	5,017
特別損失合計	1,176	5,017
税引前四半期純利益	289,168	318,593
法人税、住民税及び事業税	111,870	122,654
法人税等調整額	4,426	△5,368
法人税等合計	116,296	117,285
四半期純利益	172,871	201,308

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)	当第2四半期累計期間 (自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	289,168	318,593
減価償却費	255,203	264,857
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	4,600	△4,907
賞与引当金の増減額 (△は減少)	—	7,769
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△32,702	△8,819
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	10,267	4,679
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	300	300
受取利息及び受取配当金	△957	△962
支払利息	3,967	5,047
保険解約返戻金	△58,507	—
固定資産除却損	1,176	5,017
受取補償金	△21,345	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△106,200	△77,686
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△62,810	△94,848
仕入債務の増減額 (△は減少)	△61,284	9,873
前受金の増減額 (△は減少)	1,548	4,052
未払金の増減額 (△は減少)	52,280	24,262
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△65,238	1,438
その他	△1,174	90,464
小計	208,290	549,130
利息及び配当金の受取額	951	961
利息の支払額	△3,667	△5,268
補償金の受取額	21,345	—
法人税等の支払額	△59,529	△183,957
法人税等の還付額	161	—
営業活動によるキャッシュ・フロー	167,551	360,866
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△77,433	△108,124
無形固定資産の取得による支出	△39,725	△148,363
敷金及び保証金の差入による支出	△10,500	△3,898
敷金及び保証金の回収による収入	720	—
保険積立金の積立による支出	△14,416	△14,416
保険積立金の解約による収入	79,458	—
短期貸付金の増減額 (△は増加)	242	52
その他	△3,124	△3,846
投資活動によるキャッシュ・フロー	△64,779	△278,596
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	—	700,000
短期借入金の返済による支出	—	△500,000
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△354,717	△318,764
配当金の支払額	△49,557	△49,467
自己株式の取得による支出	—	△80,137
財務活動によるキャッシュ・フロー	95,725	△248,368
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	198,498	△166,099
現金及び現金同等物の期首残高	1,018,967	1,002,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,217,465	836,550

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期累計期間(自 2021年9月1日 至 2022年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

単位(千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益計 算書計上額 (注3)
	ネット印刷 通信販売事業	計				
売上高						
印刷売上高	4,278,509	4,278,509	—	4,278,509	—	4,278,509
資材売上高	24,221	24,221	—	24,221	—	24,221
その他売上高	2,005	2,005	—	2,005	—	2,005
顧客との契約から生 じる利益	4,304,736	4,304,736	—	4,304,736	—	4,304,736
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,304,736	4,304,736	—	4,304,736	—	4,304,736
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,304,736	4,304,736	—	4,304,736	—	4,304,736
セグメント利益又は損 失(△)	251,490	251,490	△2,108	249,383	△39,389	209,993

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△39,389千円は報告セグメントに配分していない全社費用です。なお、前第2四半期累計期間のセグメント情報は当第2四半期累計期間の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しております。

3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期累計期間(自 2022年9月1日 至 2023年2月28日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

単位(千円)

	報告セグメント		その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期損益計 算書計上額 (注3)
	ネット印刷 通信販売事業	計				
売上高						
印刷売上高	4,540,854	4,540,854	—	4,540,854	—	4,540,854
資材売上高	35,098	35,098	—	35,098	—	35,098
その他売上高	2,005	2,005	66,153	68,158	—	68,158
顧客との契約から生 じる利益	4,577,958	4,577,958	66,153	4,644,112	—	4,644,112
その他の収益	—	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	4,577,958	4,577,958	66,153	4,644,112	—	4,644,112
セグメント間の内部売 上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	4,577,958	4,577,958	66,153	4,644,112	—	4,644,112
セグメント利益又は損 失(△)	423,045	423,045	△22,760	400,284	△75,628	324,656

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、飲食事業及び調剤薬局事業です。

2. セグメント利益又は損失の調整額△75,628千円は報告セグメントに配分していない全社費用です。

3. セグメント利益又は損失は、四半期損益計算書の営業利益と調整を行っております。